

| 項目 | 発行者名 | |
|---------|--|---|
| | 2 東書 | 11 学図 |
| 使用上の留意点 | 別表1 | <p>発達の目安に照らして、[D]では部分的に使用が可能である。</p> <p>独自の単元構成（絆・生命・群像・伝統・世界）をしている。</p> <p>「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に提示し、段階ごとに例を示している。</p> <p>「読む」単元には「読み取る」「考えを深める」と課題設定し必要に応じて「たすけ」も掲載している。</p> <p>新出漢字は、脚注と巻末に単元ごとにまとめて記載している。</p> <p>文法は、本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載している。</p> |
| | 別表2 | <p>パネルディスカッション、プレゼンテーション、インタビュー、スピーチ、案内状など、実生活につながる教材を取り上げている。</p> <p>「読む」の教材ごとに本の紹介をしている。巻末に、解説付きで読書案内を掲載している。</p> <p>読書教材は、背景を色刷りにしている。</p> <p>「話す・聞く」「書く」の単元末に自己評価欄を設定している。</p> |
| | 別表3・4 | <p>カラーの挿絵を使用している。</p> <p>古典の口語訳は朱書している。</p> <p>コラムのページでは、図式や表を配置している。</p> <p>B5判で、脚注の幅は約25%である。</p> <p>行数は「 5 10 15」で表記している。</p> |
| 備考 | <p>カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、植物油インキを使用していると記載がある。</p> | |

| 発行者名 | | |
|--|---|--|
| 15 三省堂 | 17 教出 | 38 光村 |
| <p>発達の目安に照らして、[D]では部分的に使用が可能である。</p> <p>単元ごとに目標を記載している。</p> <p>「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に提示し、随時、例を示している。</p> <p>「読む」の単元では「内容を整理しよう」「考えを深めよう」の課題設定をしている。</p> <p>新出漢字は、「漢字を身につけよう」でまとめて学習する形にしている。巻末に漢字字典を掲載している。</p> <p>文法は本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載している。</p> | <p>発達の目安に照らして、[D]では部分的に使用が可能である。</p> <p>小学校から中学校へつなぐ導入単元を設定している。</p> <p>「話す・聞く」「書く」の単元では、学習の流れを統一し、随時、例を示している。</p> <p>「読む」の単元では「確かめよう」「深めよう」の課題設定をしている。</p> <p>新出漢字は本文に振り仮名を打ち、その行の下と単元末にまとめて記載している。巻末に読み方、用例、筆順を掲載している。</p> <p>文法は本文に随時、会話形式で配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載している。</p> <p>スピーチ、メモ、フリップの利用、案内状、礼状、新聞の投書など、実生活につながる教材を取り上げている。</p> <p>「読む」単元ごとに、関連する本を解説付きで紹介している。巻末に「文学にゆかりのある風景」を掲載している。</p> <p>巻末に、百人一首を記載している。</p> <p>カラーの挿絵を使用している。</p> <p>学年別に「古典への誘い」「伝統芸能への誘い」を、巻末にカラーで折り込み、掲載している。</p> <p>B5判で、脚注の幅は約22%である。</p> <p>行数は「 5 10 15」で表記している。</p> | <p>発達の目安に照らして、[D]では部分的に使用が可能である。</p> <p>小学校から中学校へつなぐ導入単元を設定している。</p> <p>「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に示し、下段にポイントや例を掲載している。</p> <p>「読む」の単元で「学習」欄に3段階の課題を設定している。</p> <p>新出漢字は、脚注（振り仮名付き）と単元末にまとめて記載し、巻末には、読み方、用例、筆順を掲載している。</p> <p>文法は本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載している。</p> <p>スピーチ、レポート、新聞の読み方、インターネットでの調査、手紙、旅行記など、実生活につながる教材を取り上げている。</p> <p>「読む」の単元ごとに、関連する本を紹介している。別途読書案内を設け、解説付きで紹介している。</p> <p>単元ごとに自己評価欄を設定している。</p> <p>学年別に中心カラーを設定しカラー写真の折り込み掲載をしている。</p> <p>古典の口語訳は黒字や色字で記載している。</p> <p>B5判で、脚注の幅は約24%である。</p> <p>行数は「 5 10 15」で表記している。</p> |
| <p>レポート、リーフレット、パネルディスカッション、プレゼンテーションなど、実生活につながる教材を取り上げている。</p> <p>「読む」単元ごとに、関連する本を紹介している。資料編で、読書案内を設けている。</p> <p>「話す・聞く」「書く」の単元末に自己評価欄を設定している。</p> <p>巻末に、カラーで資料編を配している。</p> <p>古典の口語訳を青字で記載している。古典では、資料をカラーで折り込んでいる。</p> <p>B5判で、脚注の幅は約22%である。</p> <p>行数は「 5 10 15」で表記している。</p> | <p>スピーチ、メモ、フリップの利用、案内状、礼状、新聞の投書など、実生活につながる教材を取り上げている。</p> <p>「読む」単元ごとに、関連する本を解説付きで紹介している。巻末に「文学にゆかりのある風景」を掲載している。</p> <p>巻末に、百人一首を記載している。</p> <p>カラーの挿絵を使用している。</p> <p>学年別に「古典への誘い」「伝統芸能への誘い」を、巻末にカラーで折り込み、掲載している。</p> <p>B5判で、脚注の幅は約22%である。</p> <p>行数は「 5 10 15」で表記している。</p> | <p>スピーチ、レポート、新聞の読み方、インターネットでの調査、手紙、旅行記など、実生活につながる教材を取り上げている。</p> <p>「読む」の単元ごとに、関連する本を紹介している。別途読書案内を設け、解説付きで紹介している。</p> <p>単元ごとに自己評価欄を設定している。</p> <p>学年別に中心カラーを設定しカラー写真の折り込み掲載をしている。</p> <p>古典の口語訳は黒字や色字で記載している。</p> <p>B5判で、脚注の幅は約24%である。</p> <p>行数は「 5 10 15」で表記している。</p> |
| <p>カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、植物油インキを使用していると記載がある。</p> | <p>カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、植物油インキを使用していると記載がある。</p> | <p>カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、植物油インキを使用していると記載がある。</p> |

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

| 項目 | | 2 東書 |
|----------|---|---|
| (1) ア | A | |
| | B | |
| | C | |
| | D | ◇写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用可能 |
| (2) イ | | ◇「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に提示し、段階ごとに例示 |
| | | ◇新出漢字は、脚注と巻末に単元ごとにまとめて記載 ◇文法は、本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載 ◇「読む」単元には「読み取る」「考えを深める」と課題を設定し、必要に応じて「たすけ」も掲載 |
| その他 | | |

別表2

| 項目 | | 2 東書 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇紹介スピーチ、プレゼンテーション、ニュースの見方、案内状、礼状など |
| | イ | ◇古典の導入で、3年間で学ぶ作品について記載したのち、「伊曾保物語」「竹取物語」「矛盾」を採用 ◇読書案内を設け、解説付きで紹介 ◇読書教材は、背景を色刷り、カラー写真を採用 ◇詩歌(詩・短歌・俳句)を大単元の扉に写真と共に掲載 |
| | ウ | ◇「話す・聞く」「書く」の単元末に自己評価欄を設定 |
| その他 | | |

別表3

| 項目 | | 2 東書 |
|------------|---|---------------------------------------|
| (1) (2) | ア | ◇カラーの挿絵を使用 ◇古典で、口語訳を朱書きで記載 |
| | イ | ◇コラムのページでは、図式や表を配置 ◇写真や絵の出典をその下に明記 |
| | ウ | ◇7つの大単元で構成 |

別表4

| 項目 | | 2 東書 |
|------------|----|-------------------------------------|
| (1) (2) | アイ | ◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮と記載あり |
| (3) | ウ | ◇B5判で、脚注の幅は約25% ◇行数を「5 10 15」で表記 |
| | エ | ◇植物油インキを使用 |

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

| 項目 | | 11 学図 |
|----------|---|--|
| (1) ア | A | |
| | B | |
| | C | |
| | D | ◇写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用可能 |
| (2) イ | | ◇独自の単元(絆・生命・群像・伝統・世界)で構成 ◇「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に提示し、随時例示 |
| | | ◇新出漢字は、脚注と単元末に、まとめて記載 ◇文法は本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載 |
| その他 | | |

別表2

| 項目 | | 11 学図 |
|------------|---|--|
| (1) (2) | ア | ◇スピーチ、パネルディスカッション、プレゼンテーション、インタビュー、案内状など |
| | イ | ◇読書教材は、背景を色刷りで構成 ◇漢文や文法など、それぞれ共通のキャラクターを採用 ◇古典の導入で、古典に関する説明文を掲載し、次に「竹取物語」「宇治拾遺物語」「故事成語」を採用 ◇詩歌を大単元の扉に1編掲載 |
| | ウ | ◇「読む」の教材ごとに本を紹介 巻末には解説付きで読書案内を掲載 |
| その他 | | |

別表3

| 項目 | | 11 学図 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇カラーの挿絵を使用 ◇古典で、口語訳を青字で記載 |
| | イ | ◇写真や図表は、筆者の写真以外はカラーを採用 ◇写真や絵の出典をその下に明記 |
| | ウ | ◇5つの大単元で構成 |

別表4

| 項目 | | 11 学図 |
|------------|----|--|
| (1) (2) | アイ | ◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しているとの記載あり ◇脚注にカラー写真や図を掲載 |
| (3) | ウ | ◇B5判で、脚注の幅は約22% ◇行数は、「・・・5・・・10・・・15」で表記 |
| | エ | ◇植物油インキを使用 |

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

| 項目 | | 15 三省堂 |
|----------|---|---|
| (1) ア | A | |
| | B | |
| | C | |
| | D | ◇写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用可能 |
| (2) イ | | ◇単元目標を、小单元ごとに記載 ◇「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に提示し、随時例示もあり |
| | | ◇新出漢字は、「漢字を身につけよう」でまとめて学習する形を採用 巻末に漢字字典を掲載 ◇文法は本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載 ◇「読む」の単元では「内容を整理しよう」「考えを深めよう」の課題を設定 |
| その他 | | |

別表2

| 項目 | | 15 三省堂 |
|------------|---|--|
| (1) (2) | ア | ◇スピーチ、レポート、リーフレット、プレゼンテーション、パネルディスカッションなど |
| | イ | ◇古典の導入で月について考えさせてから「竹取物語」を配し、次に「故事成語」を採用 |
| | ウ | ◇「読む」单元ごとに、関連する本を紹介 ◇「話す・聞く」「書く」の单元末に自己評価欄を設定 |
| その他 | | ◇資料編で、読書案内を設けている。 ◇小单元末に「私の本棚」で関連のある本を紹介 |

別表3

| 項目 | | 15 三省堂 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇巻末に、カラーで資料編を採用 また、折込で1年間の見通しを持たせた資料を添付 |
| | イ | ◇古典の口語訳は青書きで掲載 また、カラーで資料を折り込んでいる。 ◇写真や図表は、筆者の写真以外はカラーを使用 ◇脚注にもカラー図を掲載 |
| | ウ | ◇7つの大单元数で構成 |

別表4

| 項目 | | 15 三省堂 |
|------------|----------|---|
| (1) (2) | ア イ | ◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮していると記載 ◇カラーの挿絵を使用 |
| | (3) ウ | ◇B5判で、脚注の幅は約22% ◇行数を「5 10 15」で表記 |
| | エ | ◇植物油インキを使用 |

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

| 項目 | | 17 教出 |
|----------|---|---|
| (1) ア | A | |
| | B | |
| | C | |
| | D | ◇写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用可能 |
| (2) イ | | ◇小单元ごとに、単元目標を、最初と最後に記述 ◇「話す・聞く」「書く」の単元は、学習の流れを統一し、随時例を掲載 |
| | | ◇新出漢字は本文にふりがなを打ち、その行の下と单元末にまとめて記載 巻末に、読み方、用例、筆順を掲載 ◇文法は本文に随時会話形式で配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載 |
| その他 | | |

別表2

| 項目 | | 17 教出 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇スピーチ、メモ、フリップの利用、案内状、礼状、新聞の投書など |
| | イ | ◇古典の導入で説明文とともに、川柳や弥次喜多の話を取り上げ、次に「竹取物語」「故事成語」を採用 ◇巻末に「文学にゆかりのある風景」を掲載 ◇小学校から中学校へつなぐ導入单元を設定 |
| | ウ | ◇「読む」单元ごとに、関連する本を解説付きで紹介 |
| その他 | | ◇巻末に百人一首を掲載 |

別表3

| 項目 | | 17 教出 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇カラーの挿絵を使用 ◇写真や絵の出典をその下に明記 |
| | イ | ◇学年別に「古典への誘い」「伝統芸能への誘い」を、巻末にカラーで折り込み、掲載 |
| | ウ | ◇5つの大单元で構成 |

別表4

| 項目 | | 17 教出 |
|------------|----------|---|
| (1) (2) | ア イ | ◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮 |
| | (3) ウ | ◇B5判で、脚注の幅は約22% ◇行数は、「・・・5・・・10・・・15」で表記 |
| | エ | ◇植物油インキを使用 |

特別支援教育に係る調査研究事項(補足資料) 国語

別表1

| 項目 | | 38 光村 |
|----------|---|---|
| (1) ア | A | |
| | B | |
| | C | |
| | D | ◇写真・挿絵のページを中心に、部分的に使用可能 |
| (2) イ | | ◇小单元ごとに、単元目標を最初と最後に記載 ◇「話す・聞く」「書く」の単元では、学習手順を最初に提示し、下段にポイントや例を掲載 |
| | | ◇新出漢字は、脚注(ふりがな付き)と単元末にまとめて記載 ◇巻末にも、読み方、用例、筆順を掲載 ◇文法は本文に随時配置し、巻末にまとめと練習問題を掲載 ◇「読む」の単元では「学習」欄に3段階の課題設定 |
| その他 | | |

別表2

| 項目 | | 38 光村 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇スピーチ、レポート、新聞の読み方、手紙、旅行記、インターネットでの調査など |
| | イ | ◇「季節のしおり」として、春夏秋冬、有名な作品の冒頭部や詩歌を掲載 ◇古典の導入で、いろは歌の音読とともに、四季それぞれの自然について月を題材に、古文や短歌で取り上げ、次に「竹取物語」「矛盾」を採用 ◇小学校から中学校へつなぐ導入単元を、設定 |
| | ウ | ◇「読む」の単元ごとに、関連する本を紹介 ◇別途読書案内を設け、解説付きで紹介 ◇単元ごとに自己評価欄を設定 |
| その他 | | |

別表3

| 項目 | | 38 光村 |
|------------|---|---|
| (1) (2) | ア | ◇学年別に中心カラーを設定、カラー写真の折り込みを掲載 ◇挿絵には、カラーと白黒を併用 ◇写真や絵の出典をその下に明記 |
| | イ | ◇古典の口語訳は黒字や色字で掲載 |
| | ウ | ◇7つの大単元数で構成 |

別表4

| 項目 | | 38 光村 |
|------------|--------|----------------------------|
| (1) (2) | ア イ | ◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮 |
| | (3) | ウ |
| | | エ |